

# 知能プログラミング演習 II 課題 1

グループ 8

29114003

29114060

29114116 増田大輝

29114142

(グループレポートの場合は、グループ名および全員の学生番号と氏名が必要)

2019 年 10 月 7 日

■提出物 rep1

■グループ グループ 8

■メンバー

学生番号	氏名	貢献度比率
2911XXXX	名工大輔	25
2911YYYY	工大花子	30
2911ZZZZ	情報工介	20
2911UUUU	知能創太	25

## 1 課題の説明

課題 1-1 Search.java の状態空間におけるパラメータ（コストや評価値）を様々に変化させて実行し、各探索手法の違いを説明せよ。

具体的には、変化させたパラメータと探索結果（最短パス探索の成否、解を返すまでのステップ数、etc.）の関係を、探索手法毎に表やグラフ等にまとめよ。それらの結果を参照して考察を行い、各探索手法の違いを説明せよ。

課題 1-2 グループでの進捗管理や成果物共有などについて、工夫した点や使ったツールについて考察せよ。

課題 1-3 Search.java の探索過程や最終的に得られた順路をユーザに視覚的に示す GUI を作成せよ。

## 2 課題 1-1

Search.java の状態空間におけるパラメータ（コストや評価値）を様々に変化させて実行し、各探索手法の違いを説明せよ。

具体的には、変化させたパラメータと探索結果（最短パス探索の成否、解を返すまでのステップ数、etc.）の関係を、探索手法毎に表やグラフ等にまとめよ。それらの結果を参照して考察を行い、各探索手法の違いを説明せよ。

私の担当箇所は、後述する calcFibo メソッドの実装である。

### 2.1 手法

課題に加えて、以下の 3 点を独自仕様として組み込んだ。

1. 与えられた数がフィボナッチ数かどうかを判定する。
2. N 番目のフィボナッチ数だけではなく、N 番目までのフィボナッチ数列を返す。
3. フィボナッチ数の一般項を用いて N 番目のフィボナッチ数を求める。

1. に関して、ユーザーから数字が与えられた時、それがフィボナッチ数である時に true を返し、フィボナッチ数ではない時には false を返す仕様とした。私はこの calcFibo の実装を担当した。

2. に関しては、整数 N が与えられた時、0 番目から N 番目までのフィボナッチ数列を配列として返す仕様とした。

3. に関しては、・・・

### 2.2 実装

まず、プログラムに含まれるクラスは以下の 1 つ。

- Fibonacci クラス: メソッド calcFibo, isFibo, calcFiboSeq, calcFiboGeneral を実装したクラス。Fibonacci.java に含まれる。

n 番目のフィボナッチ数を計算する calcFibo メソッドの実装をソースコード 1 に示す。

ソースコード 1 calcFibo メソッド

---

```
1    // n 番目のフィボナッチ数を計算して返す
2    int calcFibo(int n) {
3        if (n <= 1) {
4            return 1;
5        }
6        return calcFibo(n - 1) + calcFibo(n - 2);
7    }
```

---

isFibo メソッドおよび calcFiboSeq の実装については、グループレポートを参考にされたい。

calcFibo メソッドに渡す引数 n をプログラム実行時に指定できるようにするため、main メソッドおよび Fibonacci クラスのコンストラクタを以下のように実装した。

ソースコード 2 main メソッドとコンストラクタ

---

```
1    public static void main(String[] args) {
2        new Fibonacci(Integer.parseInt(args[0]));
3    }
4
5    public Fibonacci(int n) {
6        System.out.println(calcFibo(n));
7    }
```

---

## 2.3 実行例

Fibonacci クラスに引数 5 を指定した実行結果を以下に示す。

---

```
1 clf1XXXX@cse:~/eclipse-workspace/Fibo > java Fibonacci 5
2 8
```

---

今回は 0, 1 番目のフィボナッチ数を 1 としたため、calcFibo() の引数に 5 を与えた時は 8 となるのが正しい動作である。これは、・・・

## 2.4 考察

今回、フィボナッチ数をもとめるためのクラス `Fibonacci` を実装し、インスタンスメソッドとして機能を実装したが、これは静的クラスまたはシングルトンとして実装した方が適していたように考えられる。なぜなら・・・

また、`calcFibo` メソッドを再帰関数として実装するのではなく、イテレータを用いて実装した場合を考える。イテレータで実装した場合は、実行速度が・・・

## 3 課題 1-2

グループでの進捗管理や成果物共有などについて、工夫した点や使ったツールについて考察せよ。

課題 0-2 は実装を伴わない課題であるため、考察のみ記す。

### 3.1 考察

## 4 課題 1-3

`Search.java` の探索過程や最終的に得られた順路をユーザに視覚的に示す GUI を作成せよ。

## 5 感想

フィボナッチ数の一般項をもとめるのに夢中であやうく実装が間に合わなくなるころだった。実装に関しては、・・・

## 参考文献

- [1] 来嶋大二: ひまわりの螺旋, 数学のかんどころシリーズ 8, 共立出版, 2012.
- [2] ひまわりに隠されたフィボナッチ数列と黄金比—ひまわりは黄金の花?, 数学の面白いこと・役に立つことをまとめたサイト, <https://analytics-notty.tech/fibonacci-and-goldenratio-in-sunflower/> (2019 年 10 月 4 日アクセス) .

[3] 工大花子さんのレポート。また、・・・を教えてもらった